

仙台高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語 A Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		0037		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修: 2		
開設学科		名取キャンパス一般科目		対象学年	3		
開設期		通年		週時間数	0		
教科書/教材		① 音楽家たちが奏でる食文化 (朝日出版社) ② 21ディッパー英文法 (数研出版)					
担当教員		林 俊一朗					
到達目標							
① 各パラグラフの主訴を正しく理解し、文章全体の概要を正確に把握できる。 ② 英語の文構造を正しく理解して、読解や発話の場面で正確に運用できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 ①		各パラグラフの主訴を正しく理解し、文章全体の概要を正確に把握できる。		各パラグラフの主訴を理解し、文章全体の概要を把握できる。		各パラグラフの主訴を理解できず、文章全体の概要を把握できない。	
評価項目 ②		英語の文構造を正しく理解して、読解や発話の場面で正確に運用できる。		英語の文構造を理解して、読解や発話の場面で運用できる。		英語の文構造を理解しておらず、読解や発話の場面で運用できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		① 各時の前半は、パラグラフ・リーディングを行う。英語のパラグラフは、日本語の段落にくらべて、それぞれにはっきりとした主訴がある。各パラグラフの主訴を読み取る訓練を通して、英文全体の概要を把握する力を身につける。 ② 各時の後半は、既習の英文法の復習を行う。英語の文構造を理解するために、文法事項について解説を聞き、問題演習を行うことで、定着をはかる。					
授業の進め方・方法		＜パラグラフ・リーディング＞ 1. 教科書本文の音声を聞き、黙読をする。 2. 各パラグラフの主訴を考え、ペアで共有する。 3. グループで担当パラグラフの主訴を発表する。 4. 本文概要把握問題に取り組む。 ＜英文法の復習＞ 1. 教科書左側の例文を音読させながら、要点を解説。 2. 教科書右側の問題を解き、ペアで確認し、答え合わせ。					
注意点		準備物は、教科書・ノート or ルーズリーフ・参考書。					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		英語AIIIの学習の進め方が理解できる。		
		2週	Chapter 1 The Beatles & Strawberry Fields Lesson 1 現在時制・過去時制		ビートルズに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 現在時制と過去時制を適切に運用できる。		
		3週	Chapter 1 The Beatles & Strawberry Fields Lesson 2 未来表現		ビートルズに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 未来表現を適切に運用できる。		
		4週	Chapter 2 Fuzjiko Hemming & Potato Pancakes Lesson 3 完了形 (Ⅰ)		フジコ・ヘミングに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 現在完了形と現在完了進行形を適切に運用できる。		
		5週	Chapter 2 Fuzjiko Hemming & Potato Pancakes Lesson 4 完了形 (Ⅱ)		フジコ・ヘミングに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 過去完了形と過去完了進行形を適切に運用できる。		
		6週	Chapter 3 Mozart & the Beef Tongue Lesson 5 助動詞 (Ⅰ)		モーツァルトに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 可能・許可・推量・必要・義務を表す助動詞を適切に運用できる。		
		7週	Chapter 3 Mozart & the Beef Tongue Lesson 6 助動詞 (Ⅱ)		モーツァルトに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 依頼・勧誘・過去の習慣・控えめな推量を表す助動詞を適切に運用できる。		
		8週	Chapter 4 Mozart & Fashionable Foods Optional Lesson 1 文の型		モーツァルトに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 5文型を弁別できる。		
	2ndQ	9週	Chapter 4 Mozart & Fashionable Foods Optional Lesson 1 文の型		モーツァルトに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 5文型を弁別できる。		
		10週	Chapter 5 Beethoven & his Particular Viands Lesson 7 受動態 (Ⅰ)		ベートヴェンに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 基本的な受動態を適切に運用できる。		
		11週	Chapter 5 Beethoven & his Particular Viands Lesson 8 受動態 (Ⅱ)		ベートーヴェンに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 注意すべき受動態を適切に運用できる。		

		12週	Chapter 6 Rentaro Taki & Fukujinzuke Lesson 9 不定詞（Ⅰ）	瀧廉太郎に関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 不定詞の名詞的用法・形容詞的用法を適切に運用できる。
		13週	Chapter 6 Rentaro Taki & Fukujinzuke Lesson 10 不定詞（Ⅱ）	瀧廉太郎に関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 不定詞の副詞的用法を適切に運用できる。
		14週	Chapter 7 Chopin & Pot-au-feu Lesson 11 不定詞（Ⅲ）	ショパンに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 知覚動詞・使役動詞を適切に運用できる。
		15週	Chapter 7 Chopin & Pot-au-feu Lesson 12 動名詞	ショパンに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 動名詞を適切に運用できる。
		16週	前期期末試験	これまでの学習内容を振り返り、自身の到達度を確認する。
後期	3rdQ	1週	前期のまとめ	前期の学習内容を振り返り、定着させる。
		2週	Chapter 8 Dvorak & his Last Dinner Lesson 13 分詞（Ⅰ）	ドヴォルザークに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 分詞の後置修飾・前置修飾を適切に運用できる。
		3週	Chapter 8 Dvorak & his Last Dinner Lesson 14 分詞（Ⅱ）	ドヴォルザークに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 分詞構文を適切に運用できる。
		4週	Chapter 9 Elvis Presley & the Elvis Sandwich Lesson 15 比較（Ⅰ）	エルヴィス・プレスリーに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 原級・比較級を用いた比較表現を適切に運用できる。
		5週	Chapter 9 Elvis Presley & the Elvis Sandwich Lesson 16 比較（Ⅱ）	エルヴィス・プレスリーに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 最上級を用いた比較表現を適切に運用できる。
		6週	Chapter 10 Aretha Franklin & Soul Food Lesson 17 関係詞（Ⅰ）	アレサ・フランクリンに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 関係代名詞の主格・目的格・所有格を適切に運用できる。
		7週	Chapter 10 Aretha Franklin & Soul Food Lesson 18 関係詞（Ⅱ）	アレサ・フランクリンに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 関係代名詞の継続用法を適切に運用できる。
		8週	Chapter 11 Seiji Ozawa & Nostalgic Nibbles Lesson 19 関係詞（Ⅲ）	小澤征爾に関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 関係副詞の限定用法を適切に運用できる。
	4thQ	9週	Chapter 11 Seiji Ozawa & Nostalgic Nibbles Lesson 20 仮定法（Ⅰ）	小澤征爾に関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 仮定法過去・仮定法過去完了を適切に運用できる。
		10週	Chapter 12 Bob Dylan & Country Pie Lesson 21 仮定法（Ⅱ）	ボブ・ディランに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 仮定法の重要表現を適切に運用できる。
		11週	Chapter 12 Bob Dylan & Country Pie Further Step 1 接続詞	ボブ・ディランに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 接続詞を適切に運用できる。
		12週	Chapter 13 Taylor Swift & her Shake Shake Shake Further Step 2 話法	テイラー・スウィフトに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 話法を適切に運用できる。
		13週	Chapter 13 Taylor Swift & her Shake Shake Shake Optional Lesson 2 語の役割	テイラー・スウィフトに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 品詞を弁別できる。
		14週	Chapter 14 Billie Eilish & Veganism Optional Lesson 3 覚えておきたい重要表現	ビリー・アイリッシュに関する英文を読み、段落の主訴を理解できる。 覚えておきたい重要表現を適切に運用できる。
		15週	Chapter 14 Billie Eilish & Veganism Optional Lesson 3 覚えておきたい重要表現	ビリー・アイリッシュに関する英文を読み、全体の概要を把握できる。 覚えておきたい重要表現を適切に運用できる。
		16週	後期期末試験	これまでの学習内容を振り返り、自身の到達度を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	課題テスト	合計	
総合評価割合		50	50	100	
評価項目 ①		0	50	50	
評価項目 ②		50	0	50	